

愛知岳連三エース

発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 石川 富 康
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇12月18日(木) 冬山遭難対策会議(県スポーツ会館) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>



晩秋の劔岳

PHOTO 中平等新一

冬山登山には細心の注意を!!

いよいよ高山では、冬山を迎える季節となった。今年は異常気象の年とあっていいだろう。例年、台風が上陸し被害を蒙っていたが、今年は現

在まで15個の台風が発生しているにも拘わらず本土には殆ど上陸していない。反面、集中豪雨が至る所で災害をもたらしている。

年末になると、しばしば寒波が襲来し大雪を降らし、山の遭難が多発する。今年の正月は槍平で大雪による表層雪崩に遭い、4人の死亡者がでてしまった。いつも気象の急変による下力雪には、注意したい。

冬の遭難事故を検証すると、基因は天気を予測することの可否にあると思われる。

冬山の気象は、日本海側と太平洋側とははつきり違っている。季節風が吹いている中部地方の山々の天気をみると、季節風がまともに吹きつける北アルプスの劔、立山、白馬や白山、谷川岳では季節風が吹いている間、ずっと雪が降っている。少し内陸に入った槍、穂高では、季節風が一週間吹きつづいても、雪が降るのは季節風が吹きはじめ



冬型天気図の雲のよう

てから4日間ぐらいで、その後は晴れ間が見える。八ヶ岳、奥秩父、中央アルプスになると最初の1-2日間は雪が降るが、3日目頃から晴れ、南アルプスや富士山では、季節風の影響は最初の日だけとなる。

ここで注意しなければならぬのは、日本海側では、いったん天気が回復して青空や星空が見えることがある。このまま回復すると早合点すると、気圧の谷の後に続く荒天にまきこまれる。南よりの風が吹き気温が高い間は、まだ気圧の谷が通過していない証拠である。

まだまだ、冬山では気をつけなければならない要因は幾つもあるが、入山する場合は、気象条件を熟考し、細心の注意を払って出かけた。

中高年安全登山指導者講習会

リーダーの育成と安全登山の指導

中部地区中高年安全登山指導者講習会が、9月12日～14日の3日間、滋賀県の琵琶湖プラザ・北比良峠周辺で開催され、中部14県から42人が参加し、愛知から岡崎山岳会、やまびこの4人が参加した。

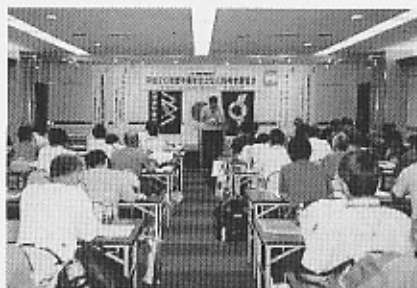
初日は、午後から講義が行われ、「適切なヘリの呼び方」で、滋賀県防災航空隊の運行体制や映像を使って、上空からヘリで見た遭難者の捜索状況について説明があり、5mの隙間があれば人を吊り上げられる。また、風景と同系色の服装は発見しづらい、などの解説があった。



八淵の滝を登る受講者たち

また、「中高年の体力と登山」で、登山は坂道を歩く、荷物を背負う、歩行時間が長い、低酸素環境で大自然で行われるため、健康を増進させる条件が揃った運動といえる。トレニングとしては、ウォーキングは、運動時間はよいが負荷が弱く、階段の登降も距離的に短く、余り効果がない。また、自分の体力の限界を知っておくため、別室で器具を使って全員が体力測定を行った。

次に「道迷いを防ぐ」ゼロからはじめるGPS」をテーマに、道迷いのないシステム構成や手順について学んだ。



講義会場

2日目は実技になり、登山行動となった。7時30分、宿舎からバスでガリバー旅行村に移動し、八淵の滝へ歩いた。このコースは、沢あり、淵のへつり、鎖場ありで変化に富んでおり、朝方の雨で岩が濡れていて緊張感があった。八雲原では、ヘリによる救助の実際を学ぶことになっていたが、負傷者が出たためそれが本番の救助搬送となり、ただそれを見学するにとどまる。その後、背負い搬送を各班に分かれ、晒を用いて実習する。更に、駐車場での川渡渉技術について、ロープを使っての指導があった。

岳事故におけるリーダーの責任」について聴講。その後、夕食と共に情報交換会が行われ、各県の活発な交流があり、終始賑やかに過ごした。

3日目は分科会となり、第1分科会「リーダーの役割と心構え」について、計画書の作成には下見山行をする。危険の対処、講習会など通じてリーダーの心構えを持って山行に臨む、など話し合われた。

第2分科会は「山で事故を起こさないためには」をテーマに、技術や知識の習得に努め講習会等に積極的に参加する。体力の限界を知って山の計画をする。体力づくりや敏捷性には、他のスポーツをするのも有効である。単独行をやらぬ。他人の事故を分析してみる。装備やストックの可否についても話し合われた。

第3分科会「中高年登山に關する諸問題」では、まず、中高年登山者のマナーについて語り合う。最近ではインスタント・パーティーが見受けられるが、技術や知識など、安全面に疑問がある。環境面ではトイレ処理があげられ、未組織登山者の保険加入問題についても議論された。

それぞれ2時間45分をたつ

ぶり使って、熱心に討議され、その結果を全体会議で座長から報告された。

閉講式では、参加者全員に修了証が授与され、最後に日山協・城副副会長が「今回は滋賀岳連のご尽力により、非常に内容の濃い講習会になり、いろいろなことを学びました。参加者の皆さんには3日間大変お疲れ様でした」と挨拶。次年度開催の長野県が紹介されて、講習会は終了した。(中平等新)

講習会に参加して

体力測定やGPSの使用法など多く学ぶ

岡崎山岳会

梶山 みどり

どこから見ても中高年真只中の私は、滋賀県で行われた同大会に参加させていただきました。中部各県から四十二名の参加があり、琵琶湖畔のホテルに二泊し、比良山系「八淵の滝」八雲ヶ原」で実地研修を行いました。準備・実施していただいた滋賀県山岳連盟および教育委員会の方々のご苦労には頭が下がる思いです。



負傷者を搬送するヘリコプター

初日、鹿屋体育大学の山本先生指導による体力測定により、自分の体力年齢を思い知らされ、滋賀岳連副会長の体験に基づく「山岳事故におけるリーダーの法的責任」の講話。そして、今回の研修の最大のテーマ「道迷いを防ぐ」のためのGPSの使い方、多くの時間を割き、パソコンからGPSへのデータの取り込みから始まり、翌日は登山現場で実際に使用し、その有効性を確かめました。また、八雲ヶ原湿原に滋賀県の防災ヘリが飛来し、負傷者救助のデモンストラレーションがあり、ヘリによる「ダウンウオッシュ」を実感できた事は、すばらしい体験となりました。

三日目は各分科会に分かれ、私は「リーダーの役割と心構え」に参加しましたが、前日の山行を基に活発な議論が行われました。夕食後の参加者との交流も楽しく、再開を約して帰県しました。来年は長野県で開催されるそうですが、ぜひ各会から参加していただきたい講習会です。

また、今後この講習内容を自分一人に留めず、会員に伝達することで登山者意識の底上げに少しでも寄与することができれば、参加した意義があったと思われます。いずれ愛知も開催県として、各県より岳人を迎えることとなりますが、そのときは微力ながらお手伝いさせていただければと考えています。

3日間で大きな収穫

やまびこ山想会

衣斐 剛人

滋賀県で開催された、平成20年度中高年安全登山指導者講習会に初めて参加しました。

1日目は、開会式のあと講演で「適切なヘリの呼び方」が映像を使って説明され、ヘリの合図の仕方や捜索時の服装、救助の大変さを教えられました。また、GPSの使い方、体力テストでは全員が真

剣に取り組んでいました。

二日目、朝から小雨降る中ガリバー村へバスで行き、八淵の滝コースから実技となりました。この頃から雨は止み沢の渡渉、クサリ場、梯子場と、かなり危険度の多い歩きでしたが、滋賀岳連のスタッフの方々が、早朝から登山道の整備をされたと聞き、有難く思いました。

八雲ヶ原で、ヘリによる救助訓練が行われる予定でしたが、実際にケガ人が出て搬送され、それを見て終わったので少しガッカリしました。そのあと背負い搬送の実技をして終わりましたが、もう少し

メニューを増やしてほしいと思います。

ホテルに戻ると「GPSのまとめ」を行ない、更に「山岳事故におけるリーダーの責任」について、プロガイドから聴講しました。夜は懇親会で盛り上がり、楽しく親交を深めることができました。

最終日は、3つの分科会がもたれ、各会で真剣に討議されたようです。そして、全体会でそれぞれ座長から発表がありました。

三日間を通して、滋賀岳連の幹部、各県の代表たちと話せたことは、大きな収穫でありました。

高体連登山部

第1回ジュニアクライミング講習会

岩狭 満

7月23日第1回ジュニアクライミング講習会(愛知県および名古屋体育協会補助事業)がビッグロック名古屋にて開催されました。参加者は昨年より大幅に増え、高校生41名、指導者・引率者11名の計52名の講習会になりました。

受講生が多いため、講習はクライミングとボルダリングの2班に分かれ、午前・午後の入れ代わりで行いました。受講生は初心者がほとんどで、クライミング班はハーネスの正しい装着方法と8の字結びの講習を受けたあと、トップロープでのクライミングを体験しました。また、ボルダリング班はバランスの取り方や体重移動など基本的なことを練習しました。

なお参加校は、旭丘、菊里、

名古屋駅前の山とスキーの専門店

駅前アルルス

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目11-27
(第2トヨタビル東館1F)

TEL 052-565-1417

使って安心 MERZEN のクリップ

このほかにも各種そろえてあります

帽子キーパーにも便利!



フィッシュクリップ



キーパークリップ



パワークリップ

株式会社マーゼンプロダクツ

〒470-0112 愛知県日進市藤枝町小山645 Tel.0561-73-3411